

1 国語に関する調査

【特長】

- 言葉の使い方に関する事項では、送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。また、調べて明らかになったことを説明する文章の特徴について理解している。
- 「読むこと」の領域では、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することについて、よく理解できている。

【課題】

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くことについて課題がある。観察や実験、調査の結果などの事実の記述は、図表やグラフを用いる方が、自分にとっても相手にとってもわかりやすくなることを理解させるとともに、国語で学習したことを他教科などでも実践しながら、書く力をつけていきたい。
- 日常よく使われる敬語の理解について課題がある。学校行事や地域の方々との交流の機会などと関連させて指導を続けていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。
- 図形の領域では、直線の平行や垂直の關係に着目して既習の正方形を捉えなおし、その意味や性質について理解することができている。

【課題】

- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の關係を基に面積の大小を判断した理由を、言葉や数を用いて説明することに課題がある。
- 数と計算の領域では、(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えることに課題がある。問題解決の課程や結果を図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動を通して、計算の仕方についての理解を深められるようにしていきたい。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」と答え、「人が困っているときは進んで助け」「人の役に立つ人間になりたい」と思っている児童が多い。
- 自分のよいところに気づき、友達関係も含めて普段の生活の中で幸福感を持った経験を多くしている。将来の夢や目標を持っている児童も多く、学校生活を前向きに捉えている。様々な活動を通して、互いのよさを認め合えるよう指導を続けてきた成果と言える。

【課題】

- 新聞を読んだり読書をしたりする児童の割合が、電子書籍を含めても低く、学校や地域の図書館を利用する児童も少ない。読書離れの傾向がある。
- 放課後の学習については、1日当たりの学習時間が1時間以下の児童の割合が高い。授業で学んだことを見直し定着を図る上でも、家庭と協力して基礎学力の向上に努めたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 今行っている読書タイムのもち方を工夫するとともに、図書ボランティアによる読み語り活動の力も借りて、読書を推進し、たくさんの文章に触れる機会を充実させていく。
- 日常的に敬語を含めた正しい言葉の使い方を学習し、学校行事や地域の方との交流の機会に実践することで、相手や場に応じた言葉の定着を図っていく。
- 何かをやり遂げた喜びや努力に基づく成功体験など、自分の成長や変化が実感でき、今ある自己肯定感をさらに高められるよう一人ひとりを伸ばす指導をしていく。
- 自主学習の定着に向け、毎日学習課題を出すなど、家庭で学習する習慣づけを行っている。学習すること、知識が広がることは楽しいという思いをもった児童を今後も育てていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学習面においては、家庭での学習の習慣化を目指すとともに、自分で計画を立てて学習することができるよう、ご家庭でもお子さんに指導をお願いします。
- ニュースを目にしたたり読んだりする時間が極端に減り、本に触れる機会も減ってきています。活字から知識を得たり心を揺さぶられたりする機会をぜひ増やしてってください。
- 地域の行事が少しずつ戻ってきました。地域の方と触れ合う機会を通して、私たちの生活が地域の方に支えられていることをお子さんと一緒に考え、感謝する心を育てていきましょう。